

「一粒の麦と十字架」

ヨハネの福音書12章23～36節

The background of the slide is light green. Below the title, there are several horizontal bars of different colors: a blue bar, a yellow bar, a magenta bar, a blue bar, a magenta bar, and a yellow bar, all of varying lengths and positions.

すると、イエスは彼らに答えて言われた。「人の子が栄光を受けるその時が来ました。まことにまことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世でそのいのちを憎む者はそれを保って永遠のいのちに至るのです。わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。もしわたしに仕えるなら、父はその人に報いてくださいます。 ヨハネ12:23

イエス様の十字架

- 十字架は栄光 ヨハネ12:23
- わたしが自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父はわたしを愛してください。、、、わたしはこの命令をわたしの父から受けたのです。ヨハネ10:17-18
- わたしを遣わした方はわたしとともにおられます。わたしをひとり残されることはありません。わたしがいつも、そのみこころにかなうことを行うからです。 ヨハネ8:29

イエス様の十字架は愛と従順

- イエス様のへりくだりと従順こそ栄光=十字架
- キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。
ヒリビ^o2:6-9
- 愛によって働く信仰だけが大事（従順、奉仕）
ガラテヤ5:6

十字架は豊かな実を結ぶ

- 地に落ちて死ぬ＝神の御手に委ねる
- 自分の支配から神の支配へ＝神の国（支配）に入る
- ゲッセマネの祈り「わたしの願うようではなく、あなたのみこころのようになさってください。」
- 主の祈り「御国が来ますように。御心が天で行われるように地（私たちの生活）でも行われますように。」
- 「わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。」＝十字架 ヨハネ12:32-33

十字架は豊かな実を結ぶ

- わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。わたしは、良い牧者です。 良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。ヨハネ10:10-11
- 農業と牧畜業のイメージ

私たちの十字架

- わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、そのうえ自分のいのちまでも憎まない者は、わたしの弟子になることができません。
ルカ14:26
- わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。、、、マタイ10:37
- 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。10:38
- 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。
ルカ14:27

私たちの十字架

- 世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。

1ヨハネ2:15-17

私たちの十字架

- 25節と25節のつながりがいのち（大事）！
- 25も26も福音！つながっている！
- 私はキリストとともに十字架につけられました
もはや私が生きているのではなく、キリストが
私のうちに生きておられるのです。いま私が
肉にあって生きているのは、私を愛し私のた
めにご自身をお捨てになった神の御子を信じ
る信仰によっているのです。 ガラテヤ2:20
- バプテスマもイエス様といっしょに死に、いっ
しょに生きるためのもの！ ローマ6:3-5

しもべ（弟子）は主といっしょのはず

- 26節 わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。
- 確かに！
- 日本の宗教のお守りやお札は、「私たちについて来て」というイメージ。
- 毎朝、「今日もついて行きます。今日はどこで（仕えま）すか？」と聞きながら生きる。

父からの栄誉（報い）

- 「わたしは、わたしを尊ぶ者を尊ぶ。」

1サムエル2:30

- わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。、、、だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。、、、マタイ7:21-24
- 永遠の命を（罪の赦しも）物のように扱ってはいけない。いのちはつながり、いっしょに生きること

主の十字架と私たちの十字架

- 日々、十字架を負って、くびきを負ってついて来いという主の招きに応じて、イエス様にくっついて行きましょう、生きましょう💖
- 十字架の道は、愛の道、従順（信仰）の道、豊かな実を結ぶ道、永遠のいのちの道、栄光の道です💖